



2022年3月1日

各 位

上場会社	フジテック株式会社
代表者	代表取締役社長 内山 高一
(コード番号	6406)
問合せ先責任者	取締役専務執行役員財務本部長 土畑 雅志
(TEL	072-622-8151)

Vision24(中期経営計画)追補版の開示について

2022年2月18日にお知らせしました通り、昨年末に発表致しました中期経営計画「Vision 24」の  
の実行施策をお示した「Vision24 追補版」を策定いたしました。

詳細につきましては、添付資料をご参照下さい。

以 上

# FUJITEC

## Vision 24 追補版

中期経営計画（2022-2024）

2022年3月1日

フジテック株式会社

（東証一部：6406）



- 昨年12月、更なる成長と収益力向上を目指し、「**Vision24**」を発表
  - 最終年度目標、基本方針、主要施策の概要を開示
- 本日、本資料で、「Vision24」の具体的施策・資本政策を説明
  - Part 1「更なる成長と収益力向上」
    - 売上高・営業利益の目標達成に向けた地域別施策
    - 投資計画・M&A方針
  - Part 2「資本政策とガバナンス体制」
    - 2021年度業績予想の上方修正を受け、前倒しで実施する資本政策
    - コーポレートガバナンスの向上

**FUJITEC**

# 更なる成長と収益力向上

---

Part 1

# 更なる成長と収益力向上

FUJITEC

- 売上高・営業利益の目標達成に向けた地域別施策、投資計画の詳細、M&A方針について説明



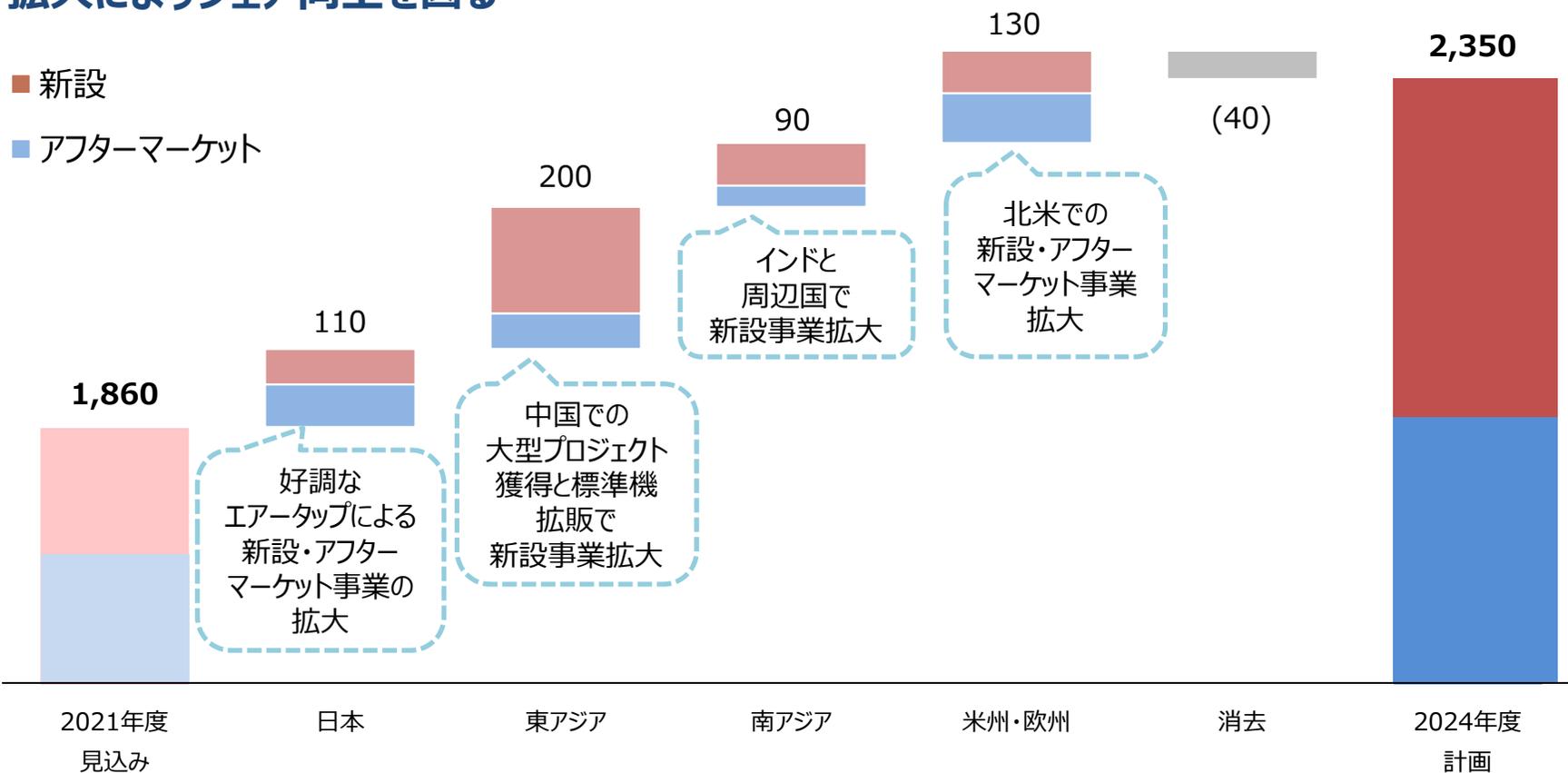
※売上高・営業利益の目標値は、オーガニックグロースの数値。本ページ以降も同様

(為替レート) 対米ドル:110円、対中国元:17円

# 売上高目標ブレークダウン

- 成長市場の新設事業拡大と成熟市場のアフターマーケット事業拡大によりシェア向上を図る

(単位:億円)



# 売上高成長の地域別施策

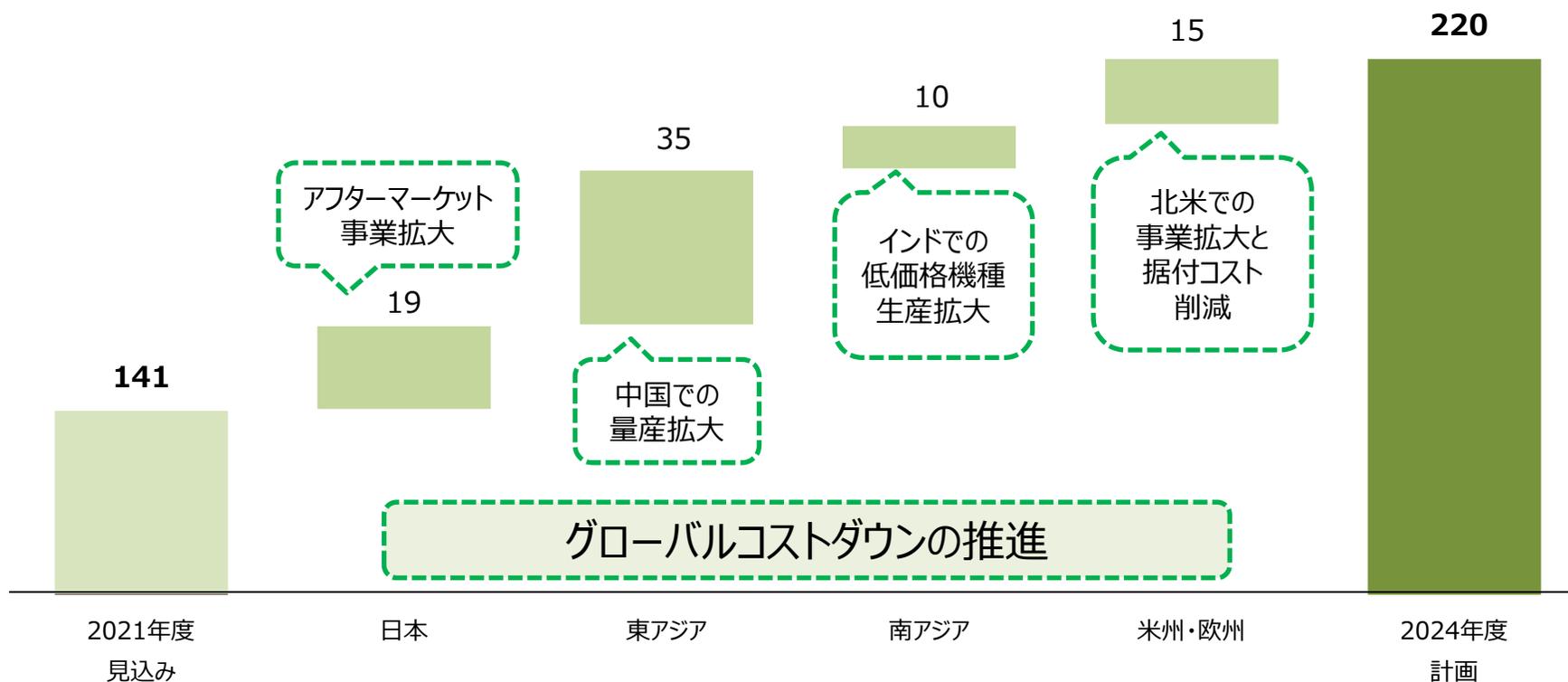


日本	新設事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型受注プロジェクトの完遂による知名度向上</li> <li>・エアータップ（エレベータ非接触ボタン）による標準機種エクシオールの拡販</li> </ul>
	アフターマーケット事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアータップを活用したモダニゼーション需要の獲得</li> <li>・モダニゼーション拡大へ商品・技術力、技量向上</li> <li>・新設・モダニゼーション獲得による保守事業の拡大</li> </ul>
中国	新設事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直販体制の強化、代理店による販売網の拡大</li> <li>・知名度向上を目指した大型プロジェクト受注</li> <li>・標準機種の拡充</li> </ul>
インド	新設事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売網の拡大</li> <li>・インド国内向け標準機種の更なるコストダウン</li> <li>・インド工場の生産能力増強と周辺地域への輸出拡大</li> </ul>
北米	新設事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械室なし標準機投入による事業拡大</li> <li>・据付工法・技量向上による効率アップとコスト削減の推進</li> </ul>
	アフターマーケット事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロープ式、油圧式エレベータのモダニゼーション拡大</li> </ul>
その他地域	アフターマーケット事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいモダニゼーション機器の投入</li> <li>・据付技量の向上による効率化と品質向上</li> <li>・遠隔監視システムなど、保守メニューの拡大</li> </ul>

# 営業利益ブレークダウン

## ・ 売上拡大とコストダウン推進による収益力向上

(単位:億円)



# 営業利益成長の施策

全地域	コストダウン	<ul style="list-style-type: none"><li>・調達部品拡大に向けた品質向上とコスト削減</li><li>・モダンゼーション機器の開発推進</li><li>・据付・保守コスト削減に向けた機器、工法開発、人材育成</li><li>・遠隔監視の性能向上とIT活用による保守コストの削減</li><li>・生産能力の強化と稼働率向上（中国の量産技術、インドの生産能力の活用拡大）</li></ul>
日本	アフターマーケット事業拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・モダンゼーション拡大による収益性の向上</li><li>・新設・モダンゼーション獲得による保守事業の拡大</li></ul>
中国	新設事業拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・国内新設事業の拡大、輸出の強化</li></ul>
インド	新設事業拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・機種ラインアップ拡充、周辺地域への輸出拡大</li></ul>
北米	新設事業拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・機械室なし標準機投入による事業拡大</li><li>・据付工法・技量向上による効率アップとコスト削減の推進</li></ul>
	アフターマーケット事業拡大	<ul style="list-style-type: none"><li>・ロープ式、油圧式エレベータのモダンゼーション拡大</li></ul>

# 投資計画



## ・ 成長フェーズへのギアチェンジを遂行すべく、積極的な設備投資を計画

### 事業成長投資

- **成長市場対応**：新設事業成長に向けた中国・南アジアの需要拡大に対応する生産体制強化
- **モダンゼーション事業拡大**：昇降機の分析施設や技術センターの整備

約100億円

### 収益性向上投資

- **調達・製造におけるコストダウン**：品質解析、技術親和性評価解析を目的とした、調達部品・技術解析センターの整備
- **IT活用促進**：保守の効率化やコストダウン、新機能の開発に向けたAI・ITの導入拡大
- **グローバル人材育成**：フィールドエンジニア/エンジニア・トレーニング施設の整備

約80億円

### ESG推進投資

- **災害対策強化**：遠隔監視センターの増強、BCP対策強化
- **CO2削減・省エネ・環境対応**：事業拠点の環境対策強化

約50億円

### 設備・施設更新投資

- **生産設備・施設更新**：既存設備や機械、工場向けの更新投資

約100億円

**設備投資総額（計画）**

**330億円**

# M&A基本方針

## ・ 規律ある投資方針に基づいて、成長機会を追求

<b>M&amp;A投資枠</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>3年累計で350億円を設定</li></ul>
<b>重点領域</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>成熟市場における保守事業の強化（人材拡充・設備増強など）</li><li>成長市場における事業基盤拡大（販路拡大、生産体制強化など）</li></ul>
<b>買収プロセス</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>M&amp;A専任者で構成するM&amp;A推進チームが、案件のソーシングから執行まで主導</li><li>推進チームがシナジー分析やPMI方針を事業本部と、資金計画を財務本部と連携</li><li>SBI インベストメントなどの外部ネットワークも活用した未公開企業の探索</li><li>資本コストを踏まえた社内基準に則り案件を精査</li></ul>
<b>ガバナンス</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>社内取締役の審議を経て取締役会上程</li><li>M&amp;A案件を取締役会で検討、意思決定を行う</li><li>買収後は、PMI状況の定期的なモニタリングを実施</li></ul>

# M&Aによる事業拡大事例

- Amalgamated Lifts (英国) の買収 (100%出資)
- 買収目的は、「成熟市場における保守事業の強化」

## 会社概要 / 事業概要



AMALGAMATED LIFTS

- 会社名 : Amalgamated Lifts Limited(略称AL)
- 所在地 : Kent, UK
- 設立年 : 1988
- 買収公表日 : 2020年2月
- 事業概要 : 昇降機設備の販売・据付・保守

## 主な取り組み / シナジー

- ✓ インテグレーション加速  
トップマネジメント、アドミニ機能、事務所統合などインテグレーションを加速中
- ✓ 部材調達ルート拡大  
ALが利用してきた欧州サプライヤーを拡大活用し、コストダウン、納期短縮を図る

- ✓ 英国高速鉄道 (HS2) への入札資格獲得  
ALの英国ロイヤル関係での保守業務受託実績や当社の製品品質の両面が評価されHS2の入札資格を獲得。今後の事業拡大へ期待

## 直近成果

- ✓ 大型モダニ受注獲得  
HSBC本社の大型モダニゼーション案件の獲得



HSBC本社

**FUJITEC**

# 資本政策とガバナンス体制

---

Part 2

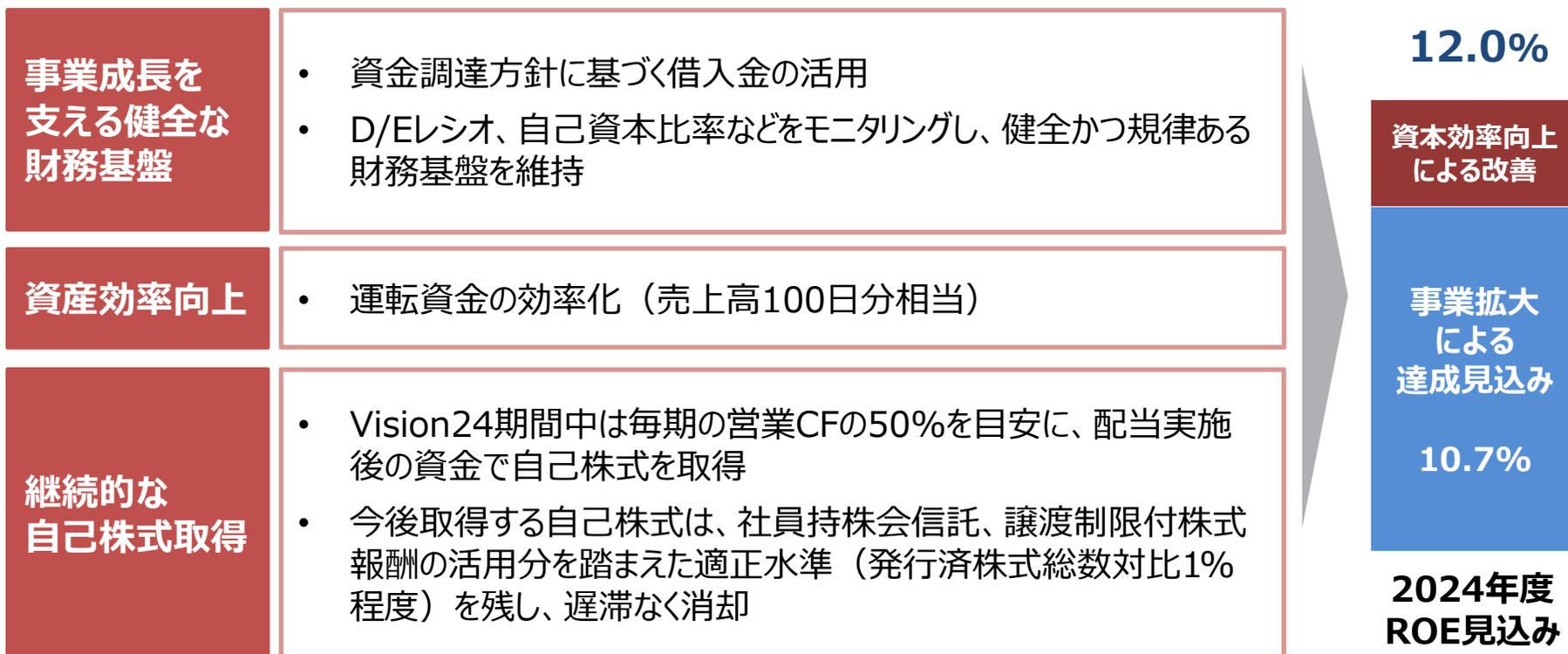
# 資本政策とガバナンス体制の更なる強化

- 2021年度の業績予想の上方修正を受け、Vision24基本方針に基づき資本効率向上に関する施策を前倒しで実施
- ガバナンス体制に関する取り組みを強化
- Vision24に先駆けて、2022年3月1日付で、自己株式100億円の取得及び保有する自己株式2,900千株の消却を公表



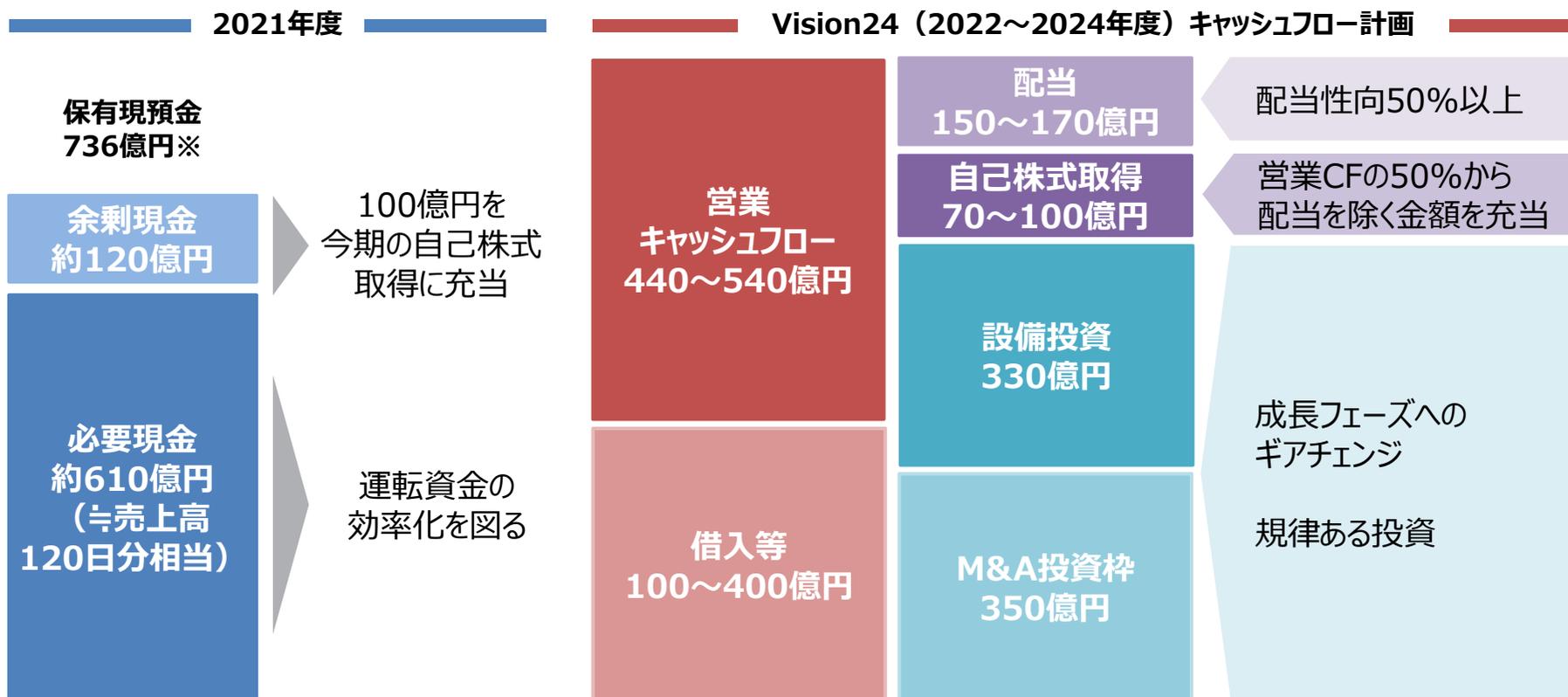
# 資本政策方針

- 積極的な成長投資を支える財務の健全な基盤を維持しつつ、資本効率の向上を図る
- 事業拡大による改善に加え、資本効率性の向上により、ROEは12%となる見込み
- Vision24以降もROEの更なる向上を目指す



# 自己株式取得とキャッシュフロー計画

- 今期中、余剰現金を自己株式取得に充当
- 還元と投資の均整の取れたキャッシュマネジメントを実施



※2022年3月期第3四半期末時点

# コーポレートガバナンスの更なる向上



- 取締役会の実効性・透明性の向上へ、取り組みを継続

## 取締役会運営の実効性向上

- 迅速な意思決定を加速するため、取締役会開催頻度を向上
- 最適な取締役会運営を目指した議長体制等の検討

## 社外取締役への情報提供に関するサポート体制の強化

- 執行部門からの報告拡充と、フィードバック提供の強化を目指した仕組みの導入

## ステークホルダーコミュニケーションの拡充

- サステナビリティ推進状況を含む投資家対話の拡充
- IR活動強化による幅広い投資家層への当社企業価値の訴求

## 政策保有株式に対する取り組み

- 保有目的と効果を精査し、保有意義の低下した株式の売却に向けた取り組みを強化

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。

既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2022年3月1日現在において利用可能な情報に基づいて、当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2022年3月1日

# フジテック株式会社

